

2023年6月12日

私たちは自らの性を生きる人々の命と人権を尊び あらゆる憎悪犯罪に反対します

私たちは、自らの性を生きようとする人々を応援します。

2023年6月5日の複数の報道によれば、大阪弁護士会に所属し、トランスジェンダーを公表している仲岡しゅん弁護士のもとに「男のクセに女のフリをしている」などの中傷と、「メッタ刺しにして殺害する」といった脅迫メッセージが送られてきたとのこと。メッセージは、事務所HPの問い合わせフォームに届いており、6月3日から5日までに断続的に同じ人物より、9通以上に及びます。

人権問題や性的少数者を取り巻く課題に取り組んでおられる仲岡弁護士に対して、自らは匿名性の中に身を置き、人権とは対極にある内容を送り付け、恐怖を与えることは許されない行為です。仲岡弁護士の守りを祈ります。ある人々に対して憎悪や憎しみを持つこと、それらを言葉にし行動へと移すことは、人権侵害であり、人のいのちを脅かす犯罪です。

また、今回のことは仲岡弁護士への加害だけに留まらず、トランスジェンダーや自らの性を生きようとする人々への憎悪（ヘイト）、憎悪犯罪（ヘイトクライム）となり、性的少数者に深刻な恐怖心を与えるものです。恐怖が平安へと変えられますように願います。

昨今は、セクシュアリティが話題となることも増えてきましたが、社会の中でトランスジェンダーとして生きる大変さは想像に難くないことです。今回の件は、自らのセクシュアリティを生きる、仲岡弁護士の生き方そのものを真っ向から否定するものであり、それらはトランスジェンダーの存在を否定することとなっています。とても恐ろしいことです。仲岡弁護士は、加害者に向けて「本当に傷つけているのは、あなたの尊厳と価値です」と、語られたとの報道もあります。人を傷付けることは、自分自身にも傷を付けているということを感じたいと思います。

私たちは国によるヘイトや憎悪犯罪に対する法整備がなされることを望み、すべての「個」の尊厳が守られ、誰もが差別や偏見から解放されて生きる社会の実現を願います。私たちは性差別に抗していきます。

日本バプテスト連盟
性差別問題特別委員会